

富士の今と昔

②

昔、御殿に住む中村五郎右衛門は
おこないが立派であると、將軍綱吉
から表彰されました。のちの世まで
これを伝えるため「孝子の碑」が大
正3年、旧東海道に当たる新橋の三
叉路に建てられました。

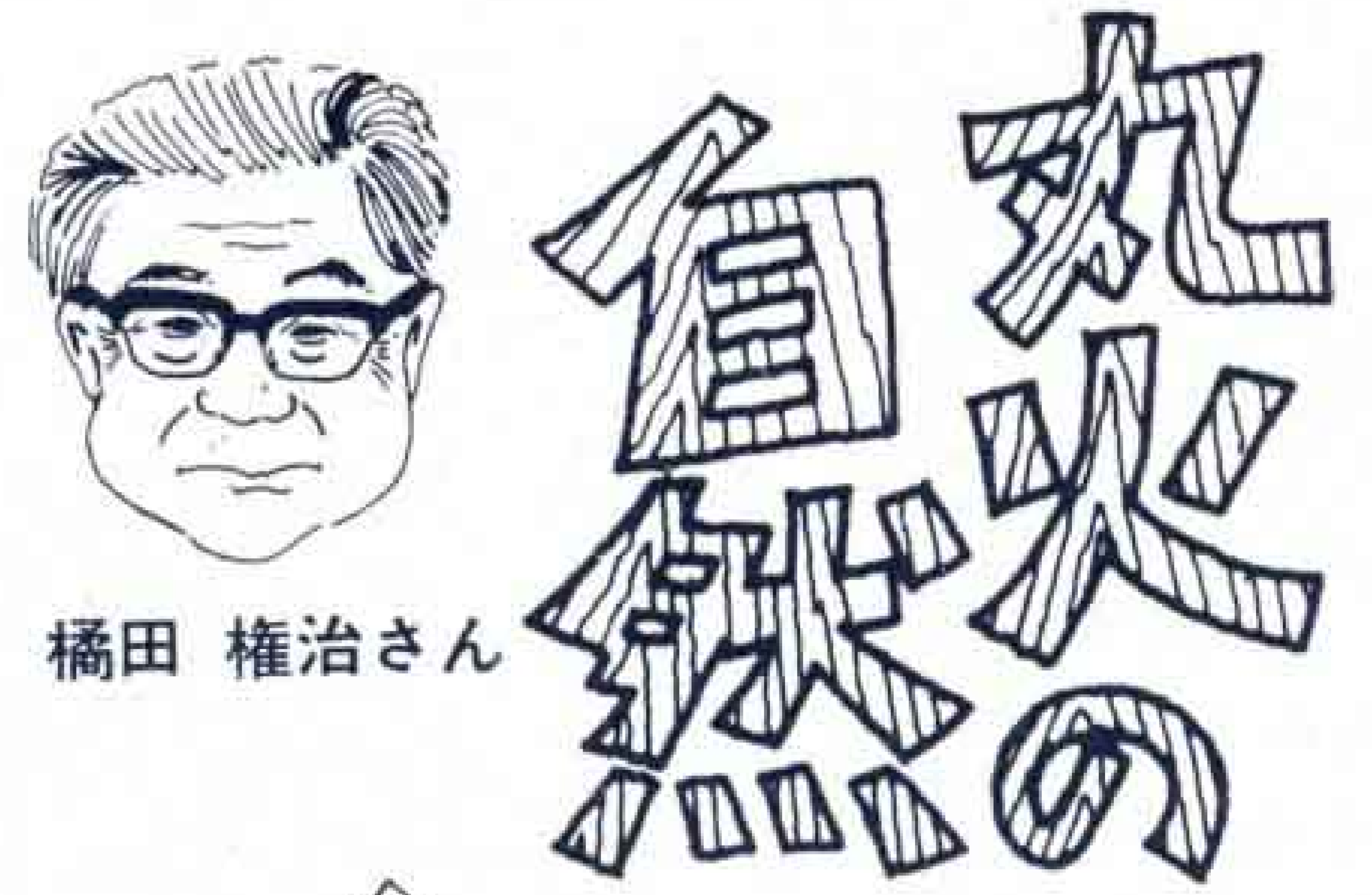


今 大きくなったくすの木

昔 新橋の三叉路に建てられた孝子の碑



浅井和子さん(新橋)は、「家が孝子の碑の前と言え
ば知らない人はなかつた
くらい有名だ
った」と話して
くれました。



橋田 権治さん

⑦



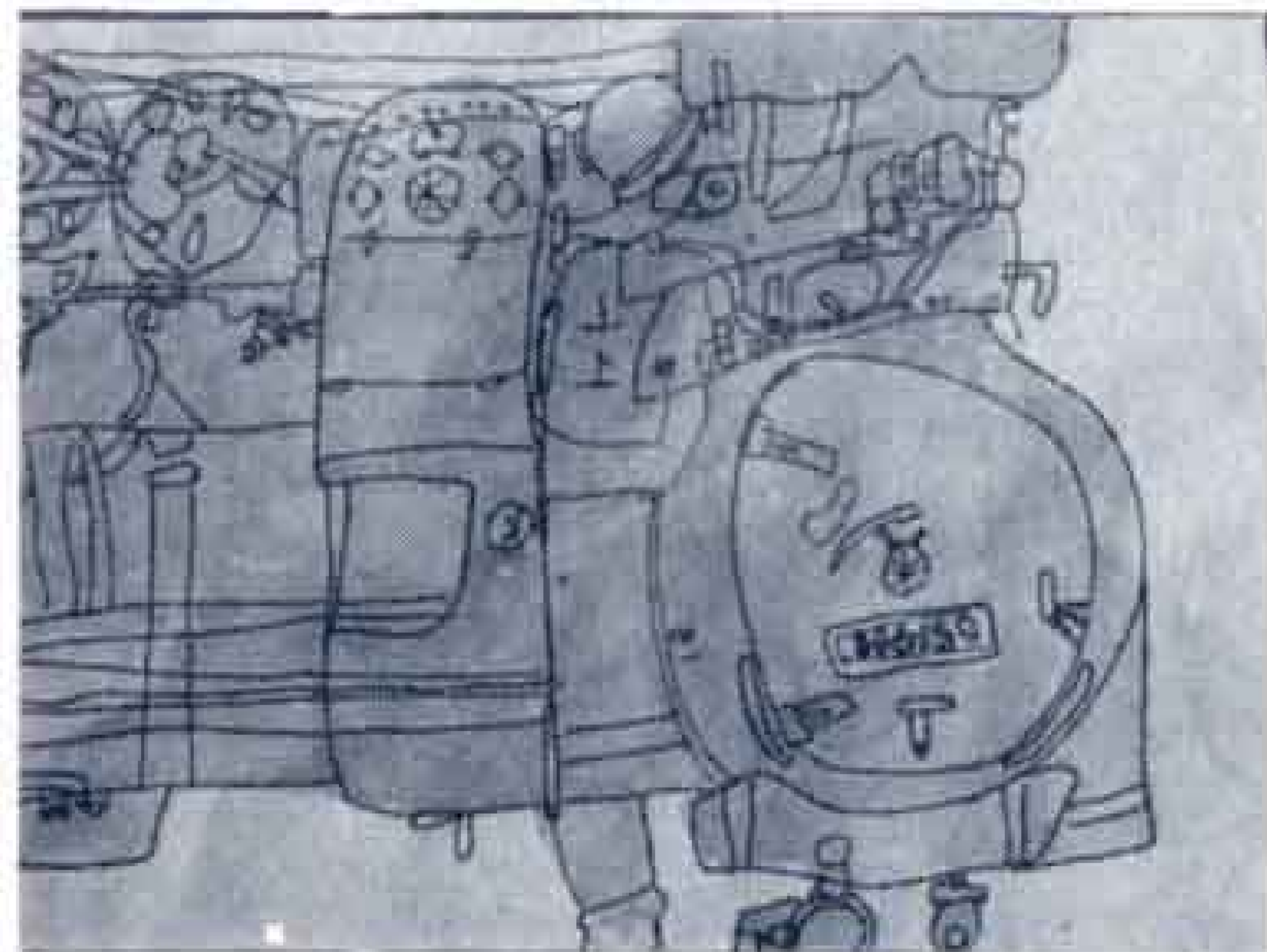
ジャムを食べるリス

2月の末から3月にかけて、沖合
いを低気圧が幾度か通る。寒く明る
い冬型の天気はその都度くずれ、森
に雪や雨を降らす。そして春一番、
雷鳴がとどろき、ときにはひょうを降
らし、または豪雨となる。しかし、
間もなく空は青く樹林帯まで真白に
なった富士がさかんに雪煙を上げる。
そんな繰り返しのうちに春は確実に
近づき、アセビの花や白梅がほころ
び、ミツマタ、キブシ、アブラチャ
ンの花が白に黄色に咲き匂う。そん
なある朝、水辺でヤマアカガエルが
しきりに鳴き、やがて八重咲きの菊花
状の卵塊が水底に目立つようになる。
野鳥やリスの動きが活発になり、ウ
グイスの初音が聞こえ、ニワトコ、
ノバラ、シバヤナギが芽吹き、シュ
ンランの花やフキノトウが顔を出す。
彼岸が近づくと、ヒキガエルが水辺
に集まりゼリー状の長い卵塊が水底
にゆらめく、その頃、ヤマアカガ
エルの卵はかえり無数のオタマジャ
クシを追い回す子供たちの声が森にこ
だます。そして、マメザクラの花が
ようやくほころび始め、森はにわか
に春めいてくる。

ぼくの作品 わたしの作品



鷹岡のSL公園にある
蒸気機関車と、やさしい
お父さんの絵を書いてく
れた、みのる幼稚園のお
友だちの作品を紹介します。



ふくしまひろみ



SL公園にみ
んなで絵をかき
に行ったよ。黒
くて大きくてす
ごく強そうだっ
た。うんてんし
てみたいな。



ふくしまあやこ



私のおとうさ
んはメガネをと
きどきかける。
おひげがはえて
て、笑うと白い
歯が見えてとっ
てもやさしい。